



山梨労働局発表
平成26年10月30日

担当	山梨労働局労働基準部監督課 監督課長 上条 訓之 監察監督官 太田良雅美 電話 055-225-2853
----	---

「過重労働解消キャンペーン」を11月に実施します

～過重労働などの撲滅に向けた監督指導や無料の電話相談などを実施～

山梨労働局(局長 三浦宏二)では、「過重労働解消キャンペーン」を11月に実施します。今年6月に閣議決定された「日本再興戦略改訂2014」において、「働き過ぎ防止の取組強化」が盛り込まれ、また同じく6月に「過労死等防止対策推進法」が成立するなど、長時間労働対策の強化が喫緊の課題となっていることから、今回のキャンペーンにより、長時間労働削減に向けた取組を推進していきます。

キャンペーンでは、著しい過重労働や悪質な賃金不払残業などに関する全国一斉の無料電話相談といった取組を予定しています。(詳細は別紙)

【取組概要】

1 労使の主体的な取組を促します

キャンペーンの実施に先立ち、使用者団体や労働組合等に対し、山梨労働局幹部が協力要請を行いました。

(使用者団体) 山梨経営者協会, 山梨県中小企業団体連合会
山梨県商工会連合会, 山梨県商工会議所連合会
山梨県労働基準協会連合会

(労働組合) 日本労働組合総連合会山梨県連合会

(その他) 山梨県社会保険労務士会

2 重点監督を実施します

若者の「使い捨て」が疑われる企業や、長時間の過重な労働による過労死などに関して労災請求が行われた事業場などへ監督指導を行います。

3 電話相談を実施します

「過重労働解消相談ダイヤル」(無料)を全国一斉に実施し、都道府県労働局の担当官が相談に対応します。

実施日時 : 11月1日(土)9:00~17:00

フリーダイヤル : 0120(794)713

《過重労働解消キャンペーン特設ページ》

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/roudoukijun/campaign.html>

※「過重労働解消相談ダイヤル」以外にも、相談や情報提供を受け付けます。

労働条件相談ホットライン【委託事業】

平日夜間・土日に、労働条件に関して、無料で相談を受け付けています。

[労働条件相談ホットライン【委託事業】](#)(平成27年3月31日まで)

0120-811-610(フリーダイヤルはい!労働)

平成 26 年度過重労働解消キャンペーンの概要

1 実施期間

平成 26 年 11 月 1 日（土）から 11 月 30 日（日）までの 1 か月間

2 具体的な取組

（1）労使の主体的な取組を促します

キャンペーンの実施に先立ち、厚生労働大臣、副大臣、大臣政務官が、使用者団体や労働組合に対し、長時間労働削減に向けた取組に関する周知・啓発などの実施について、協力要請を行い、労使の主体的な取組を促します。

（2）重点監督を実施します

ア 監督の対象とする事業場等

① 労働基準監督署及びハローワークに寄せられた相談等を端緒に、離職率が極端に高いなど若者の「使い捨て」が疑われる企業等を把握し、重点監督を実施。

※ 監督指導の結果、法違反の是正が図られない場合は、是正が認められるまで、ハローワークにおける職業紹介の対象としない。

② 長時間にわたる過重な労働による過労死等に係る労災請求が行われた事業場等に対して、重点監督を実施。

イ 重点的に確認する事項

① 時間外・休日労働が 36 協定の範囲内であるかについて確認し、法違反が認められた場合は是正指導。

② 賃金不払残業がないかについて確認し、法違反が認められた場合は是正指導。

③ 不適切な労働時間管理については、労働時間を適正に把握するよう指導。

④ 長時間労働者については、医師による面接指導等、健康確保措置が確実に講じられるよう指導。

ウ 書類送検

重大・悪質な違反が確認された場合は、送検し、公表します。

（3）電話相談を実施します

フリーダイヤルによる全国一斉の「過重労働解消相談ダイヤル」を実施し、都道府県労働局の担当官が、相談に対する指導・助言を行います。

フリーダイヤル なくしましょう 長い 残業
0120-794-713

平成 26 年 11 月 1 日（土）9：00～17：00

※ 「過重労働解消相談ダイヤル」以外にも、相談や情報提供を受け付けます。

ア 最寄りの都道府県労働局または労働基準監督署（開庁時間 平日 8：30～17：15）

イ 労働条件相談ホットライン【委託事業】

本年 9 月から、平日夜間・土日に、誰でも労働条件に関して、無料で相談を受け付けています。

フリーダイヤル はい！ 労働
0120-811-610

月・火・木・金 17:00～22:00、土・日 10:00～17:00

URL:<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000054880.html>

ウ 労働基準関係情報メール窓口

労働基準法等の問題がある事業場に関する情報を受け付けています。

URL:http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudouki_jun/mail_madoguchi.html

(4) 周知・啓発を実施します

使用者等へのリーフレットの配布、広報誌、ホームページの活用により、キャンペーンの趣旨などについて広く国民に周知を図ります。

(5) 企業における自主的な過重労働防止対策を推進します

事業主、労務担当責任者等を対象に、全国8か所（北海道、宮城、東京、愛知、大阪、広島、香川、福岡）で計10回、「過重労働解消のためのセミナー」【委託事業】を実施します。

URL：<http://過重労働解消.jp/>

働き過ぎ!…じゃないですか?

あなたは一日の中でどのくらい仕事をしていますか?

効率の良い仕事をする環境がありますか?

健康なからだ、適切な労働時間、健全な労働環境。

この機会に一度、みなおしてみませんか?

これは…
今日中に…

～過重労働、賃金不払残業をなくしましょう～

11月は「過重労働解消キャンペーン」期間です。

過重労働等に関する相談はこちら

無料 「過重労働解消
相談ダイヤル」

フリーダイヤル **なくしましょう** 長い 残業

0120-794-713

11月1日(土) 9:00 ~ 17:00

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/roudoukijun/campaign.html>



厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署

11月は「過重労働解消キャンペーン」期間です。

平成26年の通常国会で「過労死等防止対策推進法」が成立しました。この法律では、毎年11月を「過労死等防止啓発月間」と定めています。

労働時間の現状をみると、週の労働時間が60時間以上の労働者の割合は横ばいで推移するとともに、脳・心臓疾患、精神障害に係る労災認定が高水準で推移するなど、依然として恒常的な長時間労働の実態が認められるほか、割増賃金の不払に係る労働基準法違反も後を絶たないところです。

長時間にわたる過重な労働は疲労の蓄積をもたらす最も重要な要因です。

時間外・休日労働が月45時間を超えて長くなるほど、業務と脳・心臓疾患の発症との関連性が強まります。

労働基準法第37条に違反する、賃金不払残業は、あってはならないものです。

これらの問題の
解消のためには…

過重労働による健康障害を防止するために^{※1}

①時間外・休日労働時間の削減

- ◇ 時間外労働協定は、限度基準^{※2}に適合したものとする必要があります。
- ◇ 月45時間を超える時間外労働が可能な場合にも、実際の時間外労働は月45時間以下とするよう努めましょう。
- ◇ 休日労働についても削減に努めましょう。

②労働者の健康管理に係る措置の徹底

- ◇ 健康管理体制を整備し、健康診断を実施しましょう。
- ◇ 長時間にわたる時間外・休日労働を行った労働者に対する面接指導等を実施しましょう。



賃金不払残業を解消するために^{※3}

- ① 労働時間適正把握基準^{※4}を遵守しましょう。
- ② 職場風土を改革しましょう。
- ③ 適正に労働時間の管理を行うためのシステムを整備しましょう。
- ④ 労働時間を適正に把握するための責任体制を明確化しチェック体制を整備しましょう。

※1 「過重労働による健康障害を防止するため事業者が講ずべき措置」（平成18年3月、厚生労働省）

※2 「労働基準法第36条第1項の協定で定める労働時間の延長の限度等に関する基準」（平成10年労働省告示第154号）

※3 「賃金不払残業の解消を図るために講ずべき措置等に関する指針」（平成15年5月、厚生労働省）

※4 「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関する基準」（平成13年4月、厚生労働省）

これらについて、あなたの職場で守られているか疑問のある方は、無料電話相談にご相談ください。

過重労働解消
相談ダイヤル

フリーダイヤル **0120-794-713**

なくしましょう 長い残業
平成26年11月1日(土) 9:00～17:00

以下の窓口でも労働相談や情報提供を受け付けています。

都道府県労働局または労働基準監督署（開庁時間 平日8:30～17:15）

労働条件相談ホットライン^{フリーダイヤル はい！ ろうどう} **0120-811-610**（月・火・木・金17:00～22:00、土・日10:00～17:00）

労働基準関係情報メール窓口（情報提供）

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/mail_madoguchi.html

厚生労働省委託事業

労働条件相談ほっとライン

労働条件でお悩みの方!お電話ください!!

残業代の計算方法はあっているのかな…

今月も残業が多かったな。何とかならないのかな…

企業経営者の方も

労働者の方も

は い ! ろ う ど う
☎️ 0120-811-610

夜間・土日^{*}に無料でご相談をお受けします。

相談時間 月・火・木・金：午後5時～午後10時 土・日：午前10時～午後5時
〔12月6日(土)は正午～午後5時対応〕〔12月29日(月)～1月3日(土)は除く〕

開設期間 平成26年9月1日(月)～平成27年3月31日(火)

大丈夫ですか？

労働条件のこと 労働者の方も企業経営者の方も お電話でご相談ください。

このようなお悩みはありませんか？

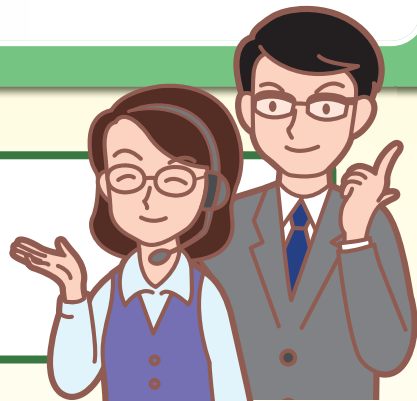
労働者の方…

- ❗ 募集内容と実際の勤務内容が違っている……？
- ❗ 有給休暇は、取れないの……？
- ❗ 残業が多くて、どうにかならないのかな……？

企業経営者の方…

- ❗ 雇入通知書には、何を書けばいいの……？
- ❗ アルバイトの有給休暇は、正社員と同じなの……？
- ❗ 残業時間を減らすには、どうすればいいの……？

日中お忙しい方も、夜間・土日に
無料でご相談をお受けします。



厚生労働省委託事業

労働条件相談ほっとライン

は い ! ろ う ど う
☎️ **0120-811-610**

平成26年9月1日(月)～平成27年3月31日(火)

月・火・木・金：午後5時～午後10時
土・日：午前10時～午後5時
〔12月6日(土)は正午～午後5時対応〕
〔12月29日(月)～1月3日(土)は除く〕